



ファームウェアバージョン :	V4.7.2.1B106C
ハードウェアバージョン :	A1、A2
発行日 :	2019/10/10

本リリースノートには、ファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用の製品に対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい製品にインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の製品がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて	3
アップグレード手順 :	4
Web-UI を使用するアップグレード	4
追加機能 :	6
修正した問題点 :	6
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件 :

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム : V4.7.2.1B106C	2019/10/10	DWC-2000	A1、A2

注意事項 :

- GNU/Linux Bash Shell の脆弱性について(CVE-2014-6271)
DWC-2000 は、GNU/Linux Bash Shell に対する脆弱性はありません。CLI および Web インタフェース経由で Shell インタフェースを使用することがないためです。
- SRTP メモリリークについて(CVE-2014-3513)
DWC-2000 は、SRTP メモリリークに対する脆弱性はありません。OpenSSL 1.0.x バージョンの SRTP をサポートしていないためです。
- “no-ssl3”オプションによるビルドの脆弱性について
DWC-2000 は、“no-ssl3”オプションによるビルドに対する脆弱性はありません。現在のコードベースでは、“no-ssl3”オプションによるビルドを設定しないためです。
- DWC-2000/A2 (H/W version A2) では、v4.6.0.2 よりも前のバージョンにダウングレードして使用することはできません。
- DWC-2000/A1 では、v4.6.0.2B111C から v4.4.0.3B601C へダウングレード、または v4.7.2.1B106C から v4.6.0.2B111C/v4.4.0.3B601C へダウングレードした場合、設定は引き継がれません。(初期化されるか、古いバージョンで保存していた設定に戻ります。)
- コンフィグファイルは取得時のバージョンより古いバージョンの機器にリストアすることはできません。

USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて

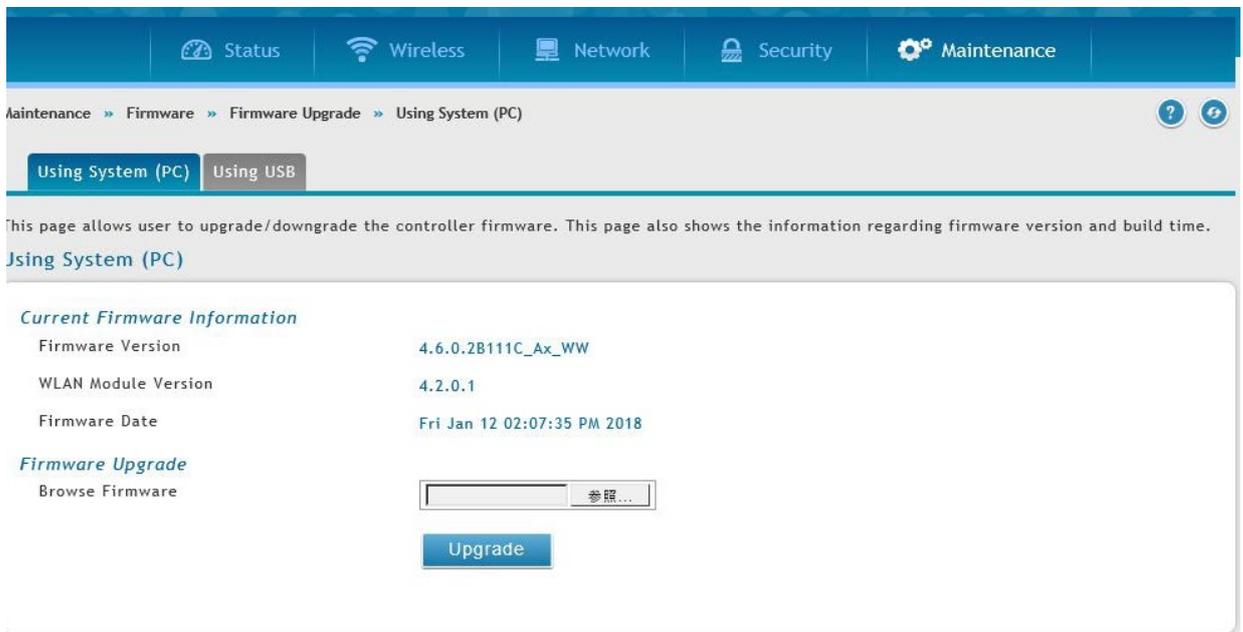
本製品は USB ドライブへコンフィグを自動的にバックアップ/リストアすることができます。
以下はバックアップ/リストアについての情報です。

1. USB ドライブが挿入されるとすぐに、コンフィグは自動的に USB ドライブへ保存されます。
ファイル名は“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”になります。(※USB ドライブ内にすでにバックアップされたコンフィグファイルが存在しない場合のみ)
2. 本製品のシステム LED が橙色に 3 回点滅した場合は、バックアップが開始されています。
3. Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグを保存することができます。ただし、すでに USB ドライブ内に保存されているコンフィグファイルと、新しく保存するコンフィグのモデル名とシリアルナンバーが一致する必要があります。
4. リポートを行った場合、本製品はコンフィグファイル（<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg）の有無をチェックします。コンフィグファイルが存在した場合は、そのファイルがリストアされます。2 つの USB ドライブにコンフィグファイルが存在した場合、1 つ目の USB ドライブにあるファイルがリストアされます。
5. USB ドライブに保存できるのは、各モデル名につき 1 つのコンフィグのみです。(フォーマットは、“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”です)
6. 工場出荷時状態の本製品に USB ドライブを挿入しリポートを行った場合は、USB ドライブにコンフィグは保存されません。本製品に設定を変更したコンフィグファイルが存在しないためです。Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグが保存されるようになります。

アップグレード手順：

Web-UI を使用するアップグレード

1. Web GUI にログインします。
IP アドレス、サブネットマスク、ユーザ名、パスワードの初期値は以下の通りです。
 - IP アドレス：192.168.10.1
 - サブネットマスク：255.255.255.0
 - ユーザ名: admin
 - パスワード: admin
2. *Maintenance > Firmware > Firmware Upgrade > Using System(PC)*の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



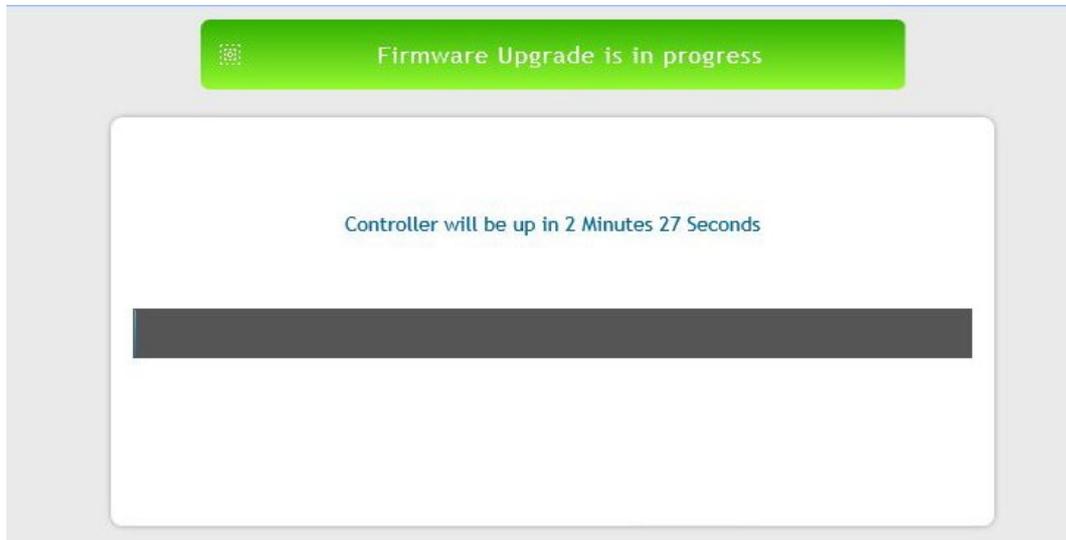
3. 「Firmware Upgrade」の「参照」をクリックします。
4. ファームウェアを選択後、「Upgrade」をクリックします。
5. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

6. 進行状況を表す画面が表示されます。

注意：

ファームウェアのアップグレードには数分かかります。

アップグレード中は、電源を切ったり Web ブラウザを閉じたりせず、そのままお待ちください。



7. ログイン画面が表示されるので、再度ログインしファームウェアバージョンを確認します。

Model Name	IP Address	Location	WLAN Traffic (MB)
N/A	N/A	N/A	0
N/A	N/A	N/A	0
N/A	N/A	N/A	0

※ログイン後にセットアップウィザードが表示される場合、ウィザードを中断して後から設定を行うことも可能です。

追加機能 :

ファームウェアバージョン	追加機能
V4.7.2.1B106C	<ol style="list-style-type: none"> DWL-6620APS、DWL-7620AP に対応致しました。 NTP サーバアドレスの初期値を変更致しました。 ターシャリ NTP サーバの設定を追加致しました。 Web インタフェースのトップ画面上部に、AP やクライアントの接続統計値を示すアイコンを追加致しました。 初回ログイン時のセットアップウィザードを追加致しました。 主要な機能の設定手順をウィザードで案内するナビゲータ機能を追加致しました。

修正した問題点 :

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V4.7.2.1B106C	<ol style="list-style-type: none"> Front Desk ページの Expiration Date が正しく表示されない問題を修正致しました。 Radius 属性 (Calling-Station-ID、Called-Station-ID) がキャプティブポータル認証に含まれない問題を修正致しました。 WLAN Visualization 機能において、ファイル名にスペースが含まれる場合にアップロードできない問題を修正致しました。 Email Log Configuration 設定で "Operation Failed" エラーメッセージが表示されることがある問題を修正致しました。 クライアント QoS 機能を有効化/無効化する際、誤ったメッセージが表示される問題を修正致しました。 IP ACL Rule Configuration において、Protocol 項目の選択肢に IP オプションが表示されない問題を修正致しました。 m.facebook.com で HSTS 処理が行われることにより、クライアントが正常にリダイレクトできない問題を修正致しました。 LAG ポートに対してポート VLAN を設定しようとした際のエラーメッセージを修正致しました。 DHCP を無効化している VLAN において DHCP NACK パケットが送信される問題を修正致しました。 Web UI Management メニューが表示されない問題を修正致しました。 Firefox による HTTPS 接続でエラーが発生する問題を修正致しました。 IP ポリシー設定で 24 ビットマスクのネットワークアドレスを追加できない問題を修正致しました。 アクティベーションコードの検証メカニズムで CRC チェックを行うように修正致しました。 システムが応答不可となる場合がある問題を修正致しました。 LDAP 認証によるキャプティブポータルへのログイン処理のパフォーマンスを改善致しました。 Web UI にアクセスすると "A Critical error encountered while web page" メッセージが表示され、元に戻すために再起動が必要となることがある問題を修正致しました。 リンクアグリゲーションの Static モードを有効化しメンバポートを設定後、ステータス画面の「Static Mode」が Disabled ステータスと表示され、正常に動作しない問題を修正致しました。 DV7 によるコンフィグのバックアップとリストアでエラーが発生することがある問題

を修正致しました。

19. データベース上の期限切れ Temporary User が自動的に削除されない問題を修正致しました。
20. WLAN Visualization 機能で画像をアップロードした際に、32 文字を越えるファイル名の場合、ファイルサイズが 0 と表示され、該当ファイルが削除できなくなる問題を修正致しました。
21. TCP SYN、UDP、TCP-FIN ポートスキャンによりポートが検出される問題を修正致しました。
22. POP3 サーバ設定で認証サーバの名前に 15 文字までしか入力できない問題を修正致しました。
23. Manual Power Adjustments を開始すると、ピアデバイスで不適切なエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。
24. 管理アクセスポイントのステータスが管理モードからスタンドアロンモードに切り替わらない問題を修正致しました。
25. ユーザ定義のキャプティブポータル画面において、パスワードの変更を無効にしている場合であっても Password Change 項目が表示される問題を修正致しました。
26. コントローラのクラスタ設定時にエラーが発生する問題を修正致しました。
27. SSH 通信の Guest アカウントでコンフィグレーションを取得できてしまう問題を修正致しました。
28. ユーザデータベースからユーザを削除できない場合がある問題を修正致しました。
29. CSV アップロードによるユーザデータベースの追加において、キャプティブポータルのグループ毎に 25 個より多くのエントリを追加できない問題を修正致しました。
30. ログアウトボタンが適切に動作しない問題を修正致しました。
31. RADIUS サーバプロファイル数の上限に達した場合に、プロファイルの編集ができなくなる問題を修正致しました。
32. アクセスポイントに対してファームウェアをアップロードできない場合がある問題を修正致しました。
33. CLI 経由で Billing プロファイルの表示を行うとエラーが発生する問題を修正致しました。
34. Snmpwalk コマンドを実行すると、処理の遅延及びそれに伴うタイムアウトが発生することがある問題を修正致しました。
35. Captive Portal Billing 関連アクション実行時に開発者向けのデバッグログが表示される問題を修正致しました。
36. AP Profile SSID の SSID 設定画面において、Radius use Network Configuration 有効化時に Radius プロファイルを選択できるように修正致しました。
37. システムの再起動後、サマータイムが適用されず、現在時刻がずれてしまう問題を修正致しました。
38. Wlan Visualization 画面において、証明書が無効である旨のメッセージが表示される問題を修正致しました。
39. クライアントローミング時、Radius Accounting により誤った情報が送信される問題を修正致しました。
40. WLAN Visualization 機能における背景画像ファイルのアップロードについて、ファイル数の上限を 12 個、ファイルサイズの上限を 2048KB に更新致しました。
41. Voice VLAN オプションがアクティブ化されている場合、ポート 1 経由で Web インタフェースに接続できない問題を修正致しました。
42. "show system remote_management setup" コマンドが正常に動作しない問題を修正致しました。remote_management オプションは UI_management オプションに置き換えられています。
43. LAG 設定時に別のポートの LAG の機能が適切に動作しなくなる問題を修正致しました。

	<p>44. 各 AP の Radio Details 画面において、レーダー検知時に Radar Detected 及び Last Radar Detected Time の値が更新されない場合がある問題を修正致しました。</p> <p>45. MAC 認証データベースに CSV ファイルをアップロードする際、ファイルに重複エントリが含まれると Critical Error メッセージが表示される問題について、通常のエラーメッセージが表示されるように修正致しました。</p> <p>46. AP List 画面の AP Provisioning タブ及び Managed APs タブにおいて、IP による列のソートが適切に動作しない問題を修正致しました。</p> <p>47. 5GHz 帯において 11n/ac が有効な場合でも WEP を設定できる問題を修正致しました。</p> <p>48. Radius Server に 0.0.0.0 が設定できる問題を修正致しました。</p> <p>49. Radius 認証時、Radius Server の優先度順にパケットが送信されない場合がある問題を修正致しました。</p>
--	--

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
V4.7.2.1B106C	<ol style="list-style-type: none"> 1. HTTP 通信でパスワードが平文となる問題。 2. USB 経由でコンフィグがリストアできない問題。NTFS フォーマットの場合に失敗します。 3. Wlan Visualization 機能が正常に動作せず、再起動後に Managed AP が保存されない問題。 4. WLAN クライアント接続により Billing ユーザがオンラインの authorize.net 経由で購入した場合、適切にリダイレクトされず、"Email and Login Now" ボタンも表示されません。Authorize.net ユーザについて、MD5 ハッシュを SHA512 に置き換える必要があります。 5. General Setting 画面の Detected Clients Delete 項目について、Help 画面の説明が間違っている問題。正しくは初期値で有効となります。 6. Managed APs List 画面からの DWL-7620AP に対するファームウェアアップグレードがサポートされない問題。※AP Firmware Download 画面からのアップグレードはサポートされます。 7. L2 Discovery で LAG ポート上の AP を Discovery できない問題。 8. Wireless Profile にて、WMF の設定が変更できない問題。

Copyright 2006-2019 D-link Japan K.K.